けやき

医療の原点は思いやり

2026 MARCH

36 vol.

特集

INDEX

- 新年度に備える健康チェック
- 臨床工学技科 ～いのちを支えるエンジニア～
- 新しいサービスが始まりました!

特集

新年度に備える健康チェック

新しい年度の始まりは、ご自身の健康と向き合う良い機会です。

忙しい日々の中で後回しになりがちな健康管理ですが、定期的な健康診断（以下健診）は、病気の早期発見や予防につながる大切な第一歩です。

今号では、磐田市立総合病院健診センターの取り組みや、より安心して健診を受けていただくための体制についてご紹介します。

日頃より磐田市立総合病院健診センターをご利用していただき、心より御礼申し上げます。平成10年の開設以来、年間約1万人の皆さまにご利用していただき、健診実施機関として正しい知識のもと、健診の普及・啓発に努めてまいりました。

当センターでは、一般の企業健診の他、1日人間ドック、脳ドック、心臓ドック、子宮頚がん検診をはじめ、低線量肺がんCT検診、内臓脂肪CT検査、腫瘍マーカーなど、各種オプション検査も取り揃えております。また、肝炎ウイルス検査の推奨や胃がんの原因となるピロリ菌感染の診断にも力を入れています。

さまざまな検査を通じて、疾病の早期発見を行い、適切な治療へとつなげるとともに、当センターをご利用される皆さまにご満足いただけるよう、質の高い健診業務を心がけております。

また、健診における内視鏡検査の予約がかなり先まで埋まっており、検査を希望される皆さまに、ご迷惑をおかけしております。令和8年度、（仮称）内視鏡センターが設立され、それに伴い、内視鏡検査の予約枠を増やす予定です。これにより、予約困難な状況が少しでも解消できればと考えております。

今後も、地域の皆さまのニーズにお応えし、より身近で利用しやすい健診センターを目指して、職員一丸となり一層の努力を重ねていく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

健診センター長
肝臓内科部長
笹田（ささだ）　雄三（ゆうぞう）

当センターの特色

磐田市立総合病院健診センターは、地域の中核病院に併設されているため、精密検査や治療への速やかな連携が可能です。脳・心臓・肺がんなど多彩なドックやオプション検査、企業向け健診にも対応し、地域の皆さまの健康を総合的にサポートしています。安心で質の高い健診を受けたい方に選ばれている健診センターです。

健診センタースタッフ

特定保健指導

健診の結果、気になっていませんか?

「少し数値が高いけど、まだ大丈夫かな…」

そんな方のために、当センターでは「特定保健指導」を行っています。内臓脂肪が多く、高血圧や高血糖、脂質異常などがみられる方を対象に、専門スタッフが、あなたの生活スタイルに合わせて、食事や運動のポイントをわかりやすくアドバイスします。無理な制限ではなく、「続けられること」から一緒に始めていきましょう。

胃内視鏡(胃カメラ)検査の拡大

令和8年秋に、病院東側に(仮称)内視鏡センターがオープンします。健診で胃カメラ検査を希望される方は、この内視鏡センターでの実施へと移行し、予約枠を拡大する予定です。最新の設備と専門医による対応により、より安全で質の高い検査を、より多くの皆さまにご提供してまいります。

人間ドック・健康診断 料金改定のお知らせ

当センターでは、これまで料金を据え置き、改定を見合わせてまいりました。しかしながら、昨今の諸経費高騰などの影響により、健診料金改定をさせていただく運びとなりました。なお、本改定はすでにご予約をいただいている方も対象となりますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

新料金:1日人間ドック(令和8年4月1日改定)

- 44,720円(新規受診の方)
- 43,340円(受診歴のある方)

その他、乳がん検診、婦人科検診、
各種オプション検査料金につきましては、
当センターホームページをご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ

- 「人間ドック」、「脳ドック」、「心臓ドック」、「企業健診」はすべて予約制です。
- 「個人ドック」、「磐田市国保ドック」、「女性向けがん検診」をご希望の方はホームページからWeb予約が可能です。
- 人間ドックおよび企業健診は、健康保険組合や事業所によって、検査項目が異なります。お申し込みの際は、加入されている健康保険組合または事業所名を必ずお知らせください。
- 事業所によっては助成制度が受けられる場合があります。詳しくは事業所の健診担当係へお問い合わせください。

▲健診センターホームページ

▲Web予約はこちら

磐田市立総合病院健診センター
〒438-8550 静岡県磐田市大久保512-3　Tel:0538-38-5031(年末年始・土日祝日を除く10時～17時)

臨床工学科 ～いのちを支えるエンジニア～

臨床工学技士（Clinical Engineer：CE）は、現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。「医学」と「工学」両方の知識を持ち、医師や看護師と共にチーム医療の一員として、患者さんの命に直結する高度な医療機器を取り扱っています。

病院では医師が「治療方針」を決め、看護師が「患者さんのケア」を行い、臨床工学技士が「機器の安全と性能」を担保し、エンジニアの視点から患者さんの命を守る重要な役割を担っています。

臨床工学科には30名の臨床工学技士が在籍しており、主な業務は生命維持管理装置の操作や、医療スタッフが安心して機器を使用できるようにするための保守・点検です。これらの機器を統括管理するME※センターでは、最新機種の導入から更新、廃棄までの一元化中央管理を行い、安全性の確保と有効性の維持に貢献しています。

※Medical Equipment（医療機器）の略

医療機器を通じて、安全で質の高い医療の提供を目指す

近年、医療現場では人材不足や業務の複雑化が進み、医師や看護師の負担軽減を目的とした「タスクシフト/シェア」が推奨されています。当院では臨床工学技士が多職種と連携し、手術室や心血管カテーテル室、内視鏡室での治療や検査等にも関わっています。

医師の働き方改革においては、医療機器に関する高度な知識と技術を有した臨床工学技士の関わりが不可欠であり、医師の労働時間削減や医療の質の向上に寄与しています。

また、日々の臨床業務に加え、学術活動や専門スキルの向上にも積極的に取り組んでいます。各種学会や研修会で最新技術や知見を学び、認定・専門資格の取得を奨励し、日常の業務に活かしています。

さらに、医療機器の専門職として地域に向けた広報活動にも取り組んでいます。近隣商業施設では医療機器展示や操作体験イベントを行い、医療の現場をより身近に感じてもらえる機会を提供しています。また、市内小学校での出前講座を開催し、子供たちに機器の役割や生命を支える技術の大切さを伝えています。医療機器は、扱い方によっては十分な効果が得られなかったり、事故につながる場合があります。正しい知識を持ち、正確に取り扱うことが重要です。

臨床工学科技師長

石田（いしだ） 臨床工学技士

機器管理

鈴木（すずき） 臨床工学技士

臨床工学技士の機器管理業務は、病院で使われている医療機器を安全に使用できる状態に保つことです。病院では、呼吸を助ける装置や正確に点滴を落とす機器など、患者さんの命や治療に関わる機器が日常的に使用されています。これらの機器は非常に精密であり、設定ミスや故障が生じると患者さんに大きな危険が及ぶ可能性があり、点検や整備が欠かせません。日々、故障やトラブルを未然に防ぐための動作点検や部品交換を実施しています。

また、医師や看護師が安心して治療に専念できるよう、機器の正しい使い方の説明や相談対応を行い、医療機器の面から患者さんの命を守っています。

血液浄化

石山（いしやま） 臨床工学技士

当院腎センターは、1970年に3床から始まり、現在では45床を備える地域の中核的な透析施設へと発展してきました。年間約17,000回の透析治療を行い、月・水・金の昼と夜、火・木・土の昼の3クール体制により、患者さんの生活に合わせた通院が可能です。出張透析や血液浄化療法にも取り組み、年間約200件の実績があります。設備面では、透析液供給装置や溶解装置を複数台備え、安定した治療環境を整えており、透析液の清浄化にも早期から取り組んでいます。多職種カンファレンスによる連携強化を通じ、質の高い医療提供を目指しています。

手術室

津川（つがわ） 臨床工学技士

手術室は、様々な医療機器を使用する場であり、近年では医療機器の進歩に伴い、臨床工学技士による機器の保守・点検・管理が重要となっています。当院では2009年4月より手術室業務に介入し、2025年4月では10名の臨床工学技士が常駐しています。業務内容は機器の点検・管理、セッティングや操作、さらに手術時の清潔補助業務（医師にメスなどの手術器材を渡す役割）を行っています。

また、臨床工学技士法の改正に伴い、臨床工学技士の手術室業務が拡大したことから、スコープオペレーター（腹腔鏡手術でのカメラの保持）や麻酔科医師の業務負担軽減（タスクシフト/シェア）にも取り組み、効率的な手術室運営を目指し、日々業務にあたっています。

循環器・不整脈

大隅（おおすみ） 臨床工学技士

循環器・不整脈業務では、医師を中心に多職種でチームを組み、高度な医療機器を駆使して心臓や血管の治療に当たっています。

不整脈治療では、カテーテルアブレーション治療における3Dマッピング等の機器操作を通じ、異常部位の特定をサポートしています。また、ペースメーカーなどの管理では、院内でのチェックに加え、近年では遠隔モニタリングを活用し、自宅にいる間もペースメーカーの状態を見守っています。

心血管カテーテル業務では、医師のパートナーとして治療を直接サポートし、緊急時には心臓や肺の働きを補うECMOなどの体外循環装置を用いて、命をつなぐ役割を担っています。

内視鏡

嶋（しま） 臨床工学技士

当院では、多職種と連携し、消化器内視鏡検査や治療を行っています。臨床工学技士が内視鏡室に常駐することで、内視鏡室の医療機器の一元管理や安全使用、修理対応、さらには迅速なトラブル対応が可能となっています。現在、8名の臨床工学技士がローテーションで消化器内視鏡検査の介助業務を行っています。近年では消化器内視鏡技師の資格を取得し、専門性にさらなる磨きをかけ、安心・安全な内視鏡検査を行えるよう日々研鑽を重ねています。

新しいサービスが始まりました

患者様サポートアプリ「ポケメド」がスタートしました

患者様サポートアプリ「ポケメド」は、スマートフォンのアプリ上で次に記載のサービスを受けることができるシステムです。使用料はかかりません。

院内にサポートブースを設けています。
お気軽にお問い合わせください。

モバイル診察券

ご本人、ご家族の診察券をアプリ内で一括管理することができます。また、表示されるバーコードで診察受付ができます。

診察予定のお知らせ

今後の受診予定日が表示されるとともに、受診日の前日と当日に「お知らせ通知」が届きます。

診察待ち人数表示

現在の診察待ち状況をスマホの画面で確認することができます。また、診察が近づくと「お知らせ通知」が届きます。

請求額等の確認

2026年1月以降の請求額や支払い履歴、診療明細の確認ができます。

医療費後払いサービス

クレジットカード情報を登録することにより、診察終了後に会計を通らずそのまま帰宅することができます。

電子処方箋がスタートしました

電子処方箋は、これまで紙で発行していた処方箋を電子化したものです。電子処方箋を利用することで、複数の医療機関や薬局の間で情報を共有することが可能になり、同じ成分のお薬を受け取ること（重複投薬）や、お薬の好ましくない組み合わせを防ぐことができます。

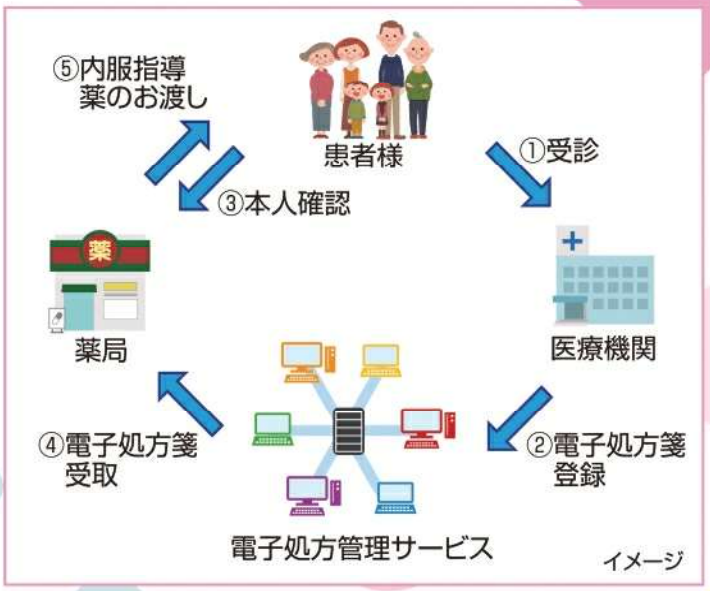
また、電子化された処方箋の情報をあらかじめ薬局に送信することで、お薬の待ち時間を短縮できるほか、マイナポータルにより、直近のご自身のお薬情報を確認することも可能になります。

ご利用の流れ

❶診察時に、担当医師へ「電子処方箋希望」とお伝えください。
❷担当医師が処方箋を電子で発行し、従来の「紙の処方箋」に代えて「処方内容（控え）」をお渡しします。
❸電子処方箋に対応している薬局にて、お薬を受け取ります。

※電子処方箋に対応していない薬局もありますので、厚生労働省のホームページより事前にご確認ください。

厚生労働省ホームページ ▲



院内日記
磐田市立総合病院ニュース

「フラワーアレンジメント講座」を開催しました!

業務終了後、福利厚生委員会が主催する「フラワーアレンジメント講座」を開催しました。

今回は生花店の方を講師にお迎えし、アレンジメントづくりに挑戦しました。同じ花材を使っても、一人ひとりの個性が光る作品が完成しました。

リフレッシュしながら職員同士の交流を深める、素敵な時間となりました。

交通安全研修会を実施しました!

磐田警察署交通課より講師をお招きし、交通安全研修会を実施しました。

当日は運転シミュレーターを使用し、運転中に潜むさまざまな危険を予測するトレーニングを参加者で行いました。今後も、安全を第一に考え、交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止に取り組んでまいります。

iwatagram

職員の特技や趣味を紹介します

近藤（こんどう） 臨床検査技師

5歳からクラシックバレエを習っています。昨年秋の発表会の写真です。運動不足解消と体型維持のために今後も続けていきます。

♡ ◯ ◁

#バレリーナ　#ライモンダ　#バリエーション
#肩上がってる　#上手になりたい

作ってみよう！

ハッピーレシピ

NO.36

総量（1人分あたり）			
エネルギー	272kcal	炭水化物	33.8g
たんぱく質	11.2g	脂質	7.9g
食塩相当量	1.6g		

材料（1人分）

- 食パン（6枚切り）　1枚
- 春キャベツ　1枚
- しらす　大さじ2
- マヨネーズ　大さじ1/2
- とろけるチーズ　10g
- あらびき黒こしょう　少々

しらすの塩味で、しっかりとした味わいに仕上がります。
朝食や昼食にいかがでしょうか。

作り方

春キャベツとしらすのトースト

① 春キャベツは5mm幅に刻み、耐熱容器に入れてラップをし、電子レンジ（500W）で1分加熱する。冷めたら水気を切る。
② ①のキャベツとしらすをマヨネーズで和え、食パンの上にのせる。
③ とろけるチーズをのせ、トースターで約5分焼く。
④ 仕上げにあらびき黒こしょうをふる。

※広告内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、取扱商品等については、磐田市立総合病院が必ずしも推奨するものではありません。

病院からのお知らせ

第30回 市民公開講座「大切な人を想うとき、自分の最期を考えるとき」を開催します

「今を自分らしく生きること」や「亡くなった大切な人を想うこと」を改めて考える内容となっています。4名の演者が、それぞれの立場から分かりやすくお話しします。ご家族での参加もおすすめです。詳細は病院のホームページをご覧ください。

◀病院ホームページ「市民公開講座」

◀WEB申し込み

日時:2026年4月25日（土）14時～16時
場所:アミューズ豊田 ゆやホール
参加費:無料（要予約・定員あり）

お電話、またはWEB申し込み用QRコードからお申し込みください。
磐田市立総合病院　地域医療連携室
電話受付　平日：午前9時～午後5時　TEL：0538-38-5304

磐田市立総合病院

〒438-8550　静岡県磐田市大久保512番地3
TEL:0538-38-5000　FAX:0538-38-5050
https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp

過去の『けやき』はこちら　インスタグラムはこちら　フェイスブックはこちら